

つばめ会会報

“Slope” #26



<目次>

タイトル	氏名	ページ
幹事長の言葉	田中 淳一 (23期)	2
会長の言葉	浅野 昭 (12期)	3
部長の言葉	高野 圭司 (30期)	4
コーチの言葉	伊藤 将宏 (28期)	5
東工大 OLT 杯 優勝者コメント		6
第 21 回東工大 OLT 杯運営報告	柴本 浩児 (28期)	7
インカレコメント集		8
2009 年度インカレロング観戦記	坪居 大介 (24期)	11
近況報告	オロロンシャオロン(25期)	12
近況報告	木平 孝和 (25期)	13
近況報告	松井 弘毅 (26期)	17
ML・ホームページについて		19
編集後記		20

写真提供：伊藤 将宏 (28期)

幹事長の言葉

つばめ会 幹事長
田中 淳一（23期）

今年もあともう少しで終わりだなあなんて年の行く末をのんきに考えていたら、朗報が飛び込んでまいりました。去る 11 月 22 日、インカレロングが栃木県の矢板で行われましたが、そこで、OLT 現役の田村蓉子さんがなんと 3 位入賞を果たしました。おめでとうございます。OB として非常にうれしく思うと同時に、自分も頑張らねばあと身の引き締まる思いをしました。個人的な話になりますが、社会人 4 年目となり、いろいろと仕事を振られるようになってまいりました。これらをきちんとかなしていくために精進せねばなあと思いました。あと、最近は運動する機会もめっきり減ってしまい、体重は順調に右肩上がりになってしまっているの、こらでどうか体重の減少にこぎつけていきたいと思います。

話は変わりますが、今年 9 月には OLT 杯が千葉県の釈迦谷で開催されました。運動の機会がめっきり減ったとはいえ、OLT 杯は可能な限り参加させてもらっています。今年も大してトレーニングもしていないのに参加してまいりました。釈迦谷というテラインは、私にとって思い出深いというか嫌な思い出があるテラインで、現役 1 年目の冬、千葉大大会で入って、尾根で南北エラーをやらかし、3 時間以上さまよい続けた結果、初めて完走できないレースとなってしまいました。そんな体験をしていたものですから、久しぶりのオリエンということも加わり、相当慎重にレースを行いました。それでも途中、現在位置不明なミラクルワールドにはまり、また昔の繰り返しかとひやっとする場面もありました。たまたまほかの人が近くにいたので、ついて行って助かりましたが。。やはり、千葉のあのあたりのテラインは難しいなあという印象でした。でも、今のこの劣った体力では走れ走れのコースやがつつり登るコースに比べたら、今回のようなテクニカルなコースのほうが楽しめるんだと感じました。最近、オリエンテーリングをやっていない OB・OG のみなさんも、来年の OLT 杯は是非参加してみたいかでしょうか。

最後になりますが、冒頭で今年もあと少しだという話をしましたが、私の幹事長の任期もあと少しとなりました。2 年間という期間、なんとかやってこられたのも、他の幹事の皆様や会員の皆様のご理解とご協力があったからであると感じております。ありがとうございました。また、何かと至らない点多々あったかと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。次回の総会にて、新しい幹事長に引き継ぐことと思えますが、会員の皆様におかれましては引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。改めまして、2 年間ありがとうございました。

会長の言葉

浅野 昭（12期）

今年は総会開催が例年より遅めに設定されたので、この会報のお届けも例年より遅くなりましたが、つばめ会会員みなさま、いかがお過ごしでしょうか。先号でも書きました新型インフルエンザですが、ついに全国的な大流行を迎えてしまいました。20歳以下の方に発症しやすいとのことで、会員みなさまのお子さんや現役部員みなさんは特に注意してこの冬を乗り切ってください。

また今年は幹事長をはじめ主な役員の改選の年でもあります。田中幹事長をはじめとする役員の方々、この2年間お疲れさまでした。

今回の総会開催時期が遅くなったのは偶然なのですが、そのことでうれしいニュースをお伝えできることになりました。先月に矢板で開催されたインカレ・ロングで田村蓉子さんが女子選手権クラスで3位入賞を果たしました。田村さんをはじめ、関係者のみなさん本当におめでとうございます&ありがとうございます。

これまで会報のスペースを借りてわたしはみなさんに対してOLへのお誘いをたびたび書いてきました。が、この3年間でわたし自身が、生活環境の変化によってこれまでのようにOLに関われなくなっています。

そんなときにこのニュースが飛び込んできました。わたしは現役時代、個人選手権クラスに出場したことはなく、インカレには未だに屈折した想いを抱いています。しかしこれをきっかけに、山道を走っているだけで楽しいと思っていた頃を思い出すことができました。この会報を読んで、みなさんもOLの楽しさ、面白さを思い出していただけたら、うれしく思います。

部長の言葉

高野 圭司（30期）

寒さが身にしみる季節となりました。皆さんは風邪などをひかず、健康にお過ごしでしょうか。

さて、最近の OLT の近況を述べますと、今年はなんと昨年を上回る 17 名の新生が入部しました。（うち 1 名は練習や大会に積極的に参加したいという理由により、電気通信大学から入部してくれました。）人数が多いため、活動の度合いは人によってまちまちですが、皆自分なりの楽しみ方を見つけ、部活に参加してくれていると思います。

工大祭は特に積極的に参加してくれました。今年は学内工事の関係で店舗数が少なく抽選が非常に厳しかったため、1 店舗しか当選できませんでした。しかし、広島風お好み焼きとラムネという王道パターンで約 5 万円の収益を上げることができました。このお金で今後、新生が何を買ってくれるのか楽しみです。

部の運営をしていくにあたって、今年は判断に困る一大事がありました。それは、夏合宿中に新型インフルエンザに発症した部員が出てしまったことです。大学側からの事前の通達により、発症者が出てしまった場合、部活動は停止しなければなりません。私個人としましては、インカレよりもある意味大事だと思っているこのイベントに中止の判断を下さなければならなかったのは非常に残念なことでした。しかし、その後新たな発症者が出ず、通常通り部活を再開することができたのは不幸中の幸いです。

つい先日、インカレロングが開催されました。東工大では古谷、大嶋、田村の 3 名が選手権クラスに参加し、健闘を見せてくれました。特に古谷の 9 位、田村の 3 位入賞は OLT としては誰もが届くわけではない素晴らしい結果だと言えるのではないのでしょうか。また、併設クラスでも入賞者、入賞にあと 1 歩の者が続々と出ました。部を競技面で引っ張って来てくれた先輩方が去ってしまった後も、トレーニングを部員同士で切磋琢磨して続けてきているのを垣間見せることができたのではないかと思います。

最後にくだけた話ですが、今年は例年にないくらい麻雀が流行っております。とある部員が麻雀マット付きこたつを部のために購入してくれたため、より充実した状態で打つことができるようになりました。OB の方々も暇を見つけては、部室に遊びにいらしてはいかがでしょうか。日ごろ部員同士で切磋琢磨して打ち合っている(!?)、現役の鋭い打ち筋を味わうことができます。

コーチの言葉

伊藤 将宏（28期）

本年度コーチの一人を務めさせていただいております 28期の伊藤です。今年度は同期の柴本をヘッドコーチとして柴本、武藤と三人態勢でコーチを回しています。もっともコーチらしいことをしているのは柴本のみで、残りの二人はほぼオフィシャル業務と柴本の手足となって働いております。同期やOBの皆様のご協力もあり、充実した活動内容になっていると自負しております。

本年度コーチとして公式に動いたものは以下になります。

6月28日(日) ロングセレ@宇根峠(埼玉県秩父市)

9月11日～13日 秋合宿@日光口・不動の滝(南)(栃木県日光市)

11月22日 インカレロング@前高原(栃木県矢板市)

その他の対策練などにも顔を出しております。今年は柴本の方針の下、去年よりも重みを付けたメニューを実施し、さらに現役もそれに応えるという非常によい相乗効果が生まれております。その結果がインカレロングで5人入賞した、という結果につながったのだと考えております。

本年度からEMITを練習会に投入している、という効果もあるのかもしれませんが、28期の卒業記念品として渡したのですが、一部をいままでの部費の黒字分から出していただき、16台を導入しました。

普段の現役陣ですが、部室真向かいの口技研に苦情を言われるほど激しい飲みを毎週のごとく展開し、麻雀メーリスを立ち上げ面子をかき集め(工大祭の準備日にも打っていたようです...)、本年度の目標の一つでもあった年間走行距離10000キロに到達と、飲む・打つ・走るを全力でこなしているようです。

このような現役陣ともども、インカレミドルまで全力を尽くしていくつもりですのでご指導・ご協力お願い申し上げます。

東工大 OLT 杯 優勝者コメント

9月に千葉県のテライン「いざ、釈迦谷」で第21回東工大 OLT 杯が開催されました。ここでは ME と WE の優勝者コメントを掲載します。

【ME】古谷 嵩(29期)

ご無沙汰しています。29期の古谷です。今回、OLT 杯の報告を...という事で、自分の OLT 杯への思い、そして大会の感想を報告させていただきます。

OLT 杯は自分にとって目標でした。自分はレースに波があるタイプなので練習会などで後輩達に負けることも多々あります。そのため、部内 No.1 を決める OLT 杯では負けるわけにはいかないと考えていました。それは最高学年として負けられない!!という意地だったので、優勝することができてほっとしています。

2位とのタイム差もあり、結果については満足していますが、レースの内容は良くないところも多数あり、インカレに向けて徐々に改善していけたらと考えています。

来年は OLT 杯の運営を精一杯やらせていただこうと思っています。29期は人数が少ないのが少し気がりですが、良い大会になると思うので、来年度の OLT 杯には是非足を運んでください。今後とも、引き続き暖かいご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

【WE】田村 蓉子(30期)

今年、地和クラスは井上と私の二人しか出走しませんでした。東工大だから仕様がなです。

結果は、ここでご報告するのも失礼な感じです。真面目にやったのに...まるでネタな結果です。なんていうか惨めです。なんでクラス優勝のコメントなのにこんなに暗いのでしょうか。どうしたら速くなれるか全く見当もつきません。しかも井上の E カードが壊れていて、40分つぼったレッグがミスタイム零でした。意味が分かりません。

走っても走ってもランニングで男子に勝てない惨めさ。地図が読める女子には負け続けるくやしさ。女子オリエン界でこんな思いをしているのは私ぐらいなんじゃないかと、勝手に思っています。

でも、走ってるっていても高々月 150km ですから。泣き言は月 300km 走っても結果が出なかったら言います。

オリエンで負けても泣かないようにします。(今まで泣いた事ないですけど)。泣いたら本当に悲しくなってしまうすし。

あと、「楽しくやればいいじゃん」って言うのもやめます。楽しくやるのは全然いいんです。でも負けた時それを言ったらもう勝てなくなる気がします。

暗い話で申し訳ありません。でもこれが私の感想です。

第 21 回東工大 OLT 杯運営報告

実行委員長
柴本 浩児 (28 期)

今年度の OLT 杯が終わって早 2 ヶ月が経とうとしております。11 月下旬、2009 年度のインカレロングが終わり、現役 OLT 部員らの活躍した光景が未だ目に焼きついたまま遅い筆を執っている次第であります。

実行委員会が本格的に活動を始めたのは 4 月上旬、2008 年インカレミドルが終わって一段落した頃でした。当時、我々を一番悩ませたのはテレインの選定でした。近年、関東近郊での良質なテレインを探し出すのは難しく、それでいて、ポピュラーすぎるテレインは夏の間クローズする必要があり、現役の練習会の機会は失いたくないという気持ちもありました。「最近調査され、藪も含めある程度精度が期待できる」「一年に一度使えれば十分な程度の都心からの遠さと山質」というコンセプトに基づいて選んだテレインが「釈迦谷」でありました。

下見をしていて気付いた点が、釈迦谷と言うと良いイメージをもたれないことも多いかと思いますが、実際のところは尾根線上は非常に見通しもよくきれいなテレインです。元来の地盤が緩いのと、秋ごろには蜘蛛が大量発生しているところは幼少のころから大の蜘蛛嫌いである私としては厳しい運営となりましたが。

今年は、OLK の夏場所や埼玉県協会大会等各種大会でピラマキや会場申込を行ったおかげで、OB の方をはじめ大変多くの方々から参加申し込みをいただきました。しかし、これは我々の予想を上回る数で、当初予定していた会場では収容しきれないものとなり、第二会場を用意する。これは我々にとってはうれしい悲鳴であり、実際運営するにあたってはチャレンジングであったとも言えます。

当日は晴れていたことが非常に大きな助けとなりましたが、運営に関しては甘いところが多分にあったと痛感しております。26 期の糸永さんが競技中に足を怪我され、救急車を呼ぶことになってしまいました。ゴール付近であったことが不幸中の幸いでしたが、コース全体の安全性に関しては、実行委員長の私が目を光らすべきでした。

大会結果に関してはほぼ実行委員会の予想通りで、私としてもほっと胸をなでおろしております。近年勢いをさらに強めている OLT ですが、来年以降は参加者として OLT 杯を楽しみにすることにします。

本稿を持って、2009 年度東工大 OLT 杯の報告と代えさせていただきます。協力、大会参加をいただいた OB のの方々、本当にありがとうございました。

インカレコメント集

文責：伊藤 将宏（28期）

本年度オフィシャルを務めさせていただいております 28期伊藤です。
現役のインカレスプリント・インカレロングの入賞者及びEクラス参加者からコメントをもらいました。

【全日本スプリント(インカレスプリント)】

10月31日に新潟県の国営越後丘陵公園にて開催されました。
この大会の学生クラスで新城大樹君（30期）が6位入賞を果たしました。
以下がそのコメントです。

全日本スプリント・学生の部入賞に寄せて

新城 大樹（30期）

去る10月31日の全日本スプリントで、念願の学生の部入賞を果たすことができました。私としても最も大きな目標の一つであったので、今でもとても嬉しく思っております。

私はロングエリートでもなければミドルAファイナリストでもありません。そのため、6月のロングセレ不通過が決まってから、スプリントに照準を絞ることにしました。

まず予選では、決勝に向けて疲れを残さないよう走ることを心がけました。トップスピードは出すもののできるだけ流し、全く追い込まないという作戦に出ました。

結果、選手権の部のA-finalに進める10位以内を獲得できず、予選13位という順位に終わりました。選手権の部には33秒差で進めなかったものの、ボーダー下であるため、学生の部のA-finalで自動的に遅いスタートを引き当てることとなりました。選手権の部の不通過を悔しがっていましたが、A-finalは選手権の部が先に、学生の部が後に出走するため、学生の部の入賞を狙う身としては最善の予選だったと開き直りました。

そのため、待機所ではゆっくり休憩できました。A-finalの出走が近づき、アップが完成して来た頃にはいつも以上に調子が良かったことを覚えています。

そうしてA-finalレースが始まりました。このレースのために用意した16000円のランニングシューズを履き、スタートしました。序盤から特につぼる事もなく、地図読み・巡航ともいいペースでした。ミスはいつも以上に出ているものの、自分の持つ技術が全て出ていることを感じました。入賞したいという想いだけでなく、最高のパフォーマンスで走りたいんだという、カラダの意思が、自分のココロに伝わってきました。まさに心技体が一つとなって走っていることを実感したレース中盤の感覚は、初めてのものでした。おそらく一生忘れないと思います。

さすがにレース終盤には午前の疲れが出てきてしまい、スタミナ切れになりましたが、レース全体としてはよくやったと、速報を見る前に自分に言い聞かせました。

自分がフィニッシュした時点で、暫定6位となり、結局そのままの順位で成績確定。6位入賞が決まりました。正直信じられない気持ちもありましたが、何カ月も前から欲しかった入賞という目標を達成でき、ホッとしました。

あだたらやベイエリアなど、MEでも上位選手と肩を並べるほどの成績をとっていたことを考えると、この結果は不甲斐ないといえます。しかし、名大や東北大の主力選手に勝ったことは、学生の部であっても入賞は立派なものだと、胸を張ることができると思います。

あれからもうすぐひと月。副賞として戴いたバラの花は、順調に育っています。最近のOLTはインカレロングでも活躍があるなど、部の雰囲気は確実によい方向へ向かっています。3月の日光インカレでは、昨年以上の活躍が見込めるでしょう。リレーMEも昨年以上のメンバーで臨めると思います。私も入賞メンバーの一員となれるよう、試行錯誤を重ねていく日々を送っています。

最後になりましたが、練習会や合宿、大会などでサポートして下さったつばめ会の皆様、遠征先でも声をかけてくださったり、またOLの活動をしていなくてもつばめ会ML等で応援してくださっている皆様、皆様の支援がなければ入賞はおろか、わざわざ新潟まで出場することすらなかったと思います。本当にありがとうございました。そして、OLTのさらなる発展のために、今後ともご支援、ご声援のほどよろしく申し上げます。(了)

【インカレロング】

11月22日に栃木県前高原にて開催されました。

MUFクラスでMUF1 曾原直也君(32期)が5位入賞。惜しくも山本峻丸君(32期)、山本剛史君(32期)が6位でした。

MULクラスではMUL1で新城大樹君(30期)、楠恵輔君(31期)が同タイムで3位入賞、MUL2で高野圭司君(30期)が2位入賞しました。

またエリートクラスでは男子で9位に古谷嵩君(29期)が1:27:24で完走、45位で大嶋拓実君(31期)が1:50:35で完走いたしました。

また女子では東工大初となる入賞、3位に田村蓉子さん(30期)が1:08:16で入賞しました。

以下、入賞者・エリートのコメントを集められただけ掲載させていただきます。

古谷嵩君(29期)(MUE 9位)

OLT杯の報告に引き続き失礼します。29期の古谷です。

今回インカレロングの選手権クラスにて9位と言う成績を残させてもらいました。入賞な訳でもなく、正直微妙な順位ではありますが、個人的には満足しています。

もう、今週末にはミドルセレがあります。とりあえずは通過を目標にしていきたいと思います。

大嶋拓実君(31期)(MUE 45位)

貴重な機会をいただいたのに不甲斐ない結果になってしまい、申し訳ないです。しかし今回得た経験や感じた事も多くあるので、ここから学びます。来年、再来年に成長してもう一度挑戦したいと思います。

田村蓉子さん(30期)(WUE 3位)

今回入賞出来たのはOLTのみんなとOBさんのおかげです。ありがとうございました。

あと表彰ではしゃいでごめんなさい。入賞コメ長くてごめんなさい。司会者さん。

曾原直也君(32期)(MUF1 5位)

今回、インカレロングのMUF1で5位入賞しました。

これもひとえに先輩方やOBの皆さんの指導があったからこそです。

しかし、ここで入賞したっきりにならないよう、これからも更に上を目指し頑張っていきますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

新城大樹君(30期)(MUL1 3位)

まず、MUL1で3位入賞という結果を残せました。自分だけでなく、田村をはじめとした多くのOLT部員が活躍したことを嬉しく思っております。多くのOBさんの方から祝福の声をいただきました。ありがとうございます。日光インカレでも今の部の勢いを持続していきたいと思っております。今後とも、ご支援ご声援のほどよろしくお願ひします。

高野圭司君(30期)(MUL2 2位)

12月以降大事なレースが続く中で、次につながる良いレースをすることができました。今後も本番で結果を残せるよう精進していきます。

～表彰式～



写真提供：伊藤 将宏(28期)

2009 年度インカレロング観戦記

坪居 大介 (24 期)

11/22・23 に、インカレロング@矢板に参加してきました。

- ・ 現役=車がないのはいつものことなので、せっかくだからということで駅 会場間のピストン輸送のお手伝いをしながら会場へ。そのせいで群馬の寮の出発時刻が 5:00 になりましたが、まあ些細なことです。OB として役に立ってるのはこんなときなんでしょうね。
- ・ ちなみにこのトレインは自分が大学 1 年の時の春インカレでした。会場も一緒でした。そういえばあの年のリレーはお約束どおりの 7 位でした。いろいろ思い出深いです。
- ・ プログラムの冊子が会場で配布されていました。何かが確実に間違っていますが、今年のクラブカップ@菅平がとんでもないことになっていたのも、この程度でなんとも思わないというのは我ながら毒されすぎですね...。(Web 版は数日前に up 済みでした)
- ・ 僕は併設大会に出場するのでスタートに向かう...前に、全体トップゴールとなった MF の山本君を応援。(この日は全クラスゴール=会場でした)現役はこの時点でみんなスタートに行っていたので、OB みんなで応援というなかなかシュールな光景が繰り広げられていました。
- ・ ラスポをとってからグラウンドを 3/4 周する際に会場から丸見え。...これはまずい。主に自分のラスポゴールの時に。
- ・ 自分のレースが終わって速報ボードをチェック...古谷 ME9 位!?田村 WE3 位!?うそ!?正直ここまでの順位は出ないだろうと思っていたのに...
- ・ 表彰式での田村の発言「東工大は女子が少ないので...」...それは言っちゃダメだって。

というわけで、何とんでも田村の 3 位入賞が印象に残ったインカレロングでした。

エリートのゴールシーンは一切見ていないのですが、さぞかし盛り上がったことでしょう。

その他、MUL や MF で合計 4 人入賞と、例年になく入賞者が多かったですね。

僕は現役のオリエンの実力は大体把握しているつもりですが、今回はだいぶ成績がよかったんじゃないかな、と思います。春インカレも期待できそうです。

あ、僕のレースですか？僕は OB の N 多見氏と激しい争いをしました。僕が数分差で勝利。...規定時間オーバーでしたが。

P.S. その他、どうでもいい話。

- ・ 自分のレースのゴール時に現役に併走された...。晒し者すぎる...
 - ・ 翌日にミドルのレースに出てちょっとミスをして湿地を突っ切ろうとして足を突っ込んだら、その湿地がやたら深くて足が股下まで浸かった。死ぬかと思った。
- ちなみに、その後 OLT 現役の某氏も同じところに突っ込んだらしい。

近況報告

P.N. オロロンシャオロン（25期）

お疲れ様です。気ままな学生生活を終え、今年度から社会人として働いている者です。伸介から近況報告を引き受けたものの、大して書くようなことも無いので、最近の仕事の流れを簡単に書いてみようかと思えます。

- 8:30 出社（メールチェック）
- 8:45 私の実験を手伝ってくれる3人の派遣社員の前で朝礼
今日行う実験とその注意事項を簡単に説明し、実験手順書を渡す
あとは勝手に実験をやってくれるので、デスクワーク
- 10:00 実験でアクシデント発生。私で指示できない時は関係者に電話して指示を仰ぐ
基本的には、アクシデント発生時以外ずっとデスクワーク
- 12:00 昼休み開始
- 12:45 昼休み終わり
- 14:00 会議。この日は一週間でいった業務の報告会
- 15:30 翌日の実験手順書を作り始める
- 17:00 実験終了。派遣社員はこれで業務終了
実験結果のまとめにとりかかる
- 18:30 実験結果をサーバにアップ
個人的に取り組んでいる仕事（実験プロセスの改善）にとりかかる
- 19:30 帰社

だいたい、上記のような一日を過ごすことが多いです。だいたいというか、実験を行う時の8割がたはこのスケジュールです。はっきり言ってマンネリ感は否めない。さらに、工大祭の模擬店運営であれだけテンパった私に、3人も派遣をつけるうちの会社は頭が悪いとしか思えません。派遣社員は全員私よりも年上だからすごく気を使うし。はあ。まあ、給料をもらっているわけだし、これも修行だと思ってなんとかやっています。

給料と言えば、ボーナスというものを人生で初めてもらいました。せっかくなので馬鹿なことに少し使おうと思い、ボーナス支給後の週末に、女の子のいる店に行ってきました。すると、そこには受付で女の子を選んでいる会社の同期の姿が！向こうに気づかれるとお互いが気まずいので、逃げるように店を出てきました。世間は思っているより狭いので、こういう店に行くときは自分の活動範囲より少し遠い所に行ったほうが良い、という教訓ってことで。

まったくオチがなくて申し訳ないけど、このへんで。

近況報告

木平 孝和 (25 期)

前回は一部に好評だったということで乗せられて書いてみました。基本アレな内容なんで良識ある人は笑い飛ばして頂けると助かります。本気にされてもこちらは困りますよ～。ノンフィクション風フィクションという報道バラエティばりの内容なんで、そのところを理解した上でご覧ください。

● 新社会人期末編

前回の続き位からですかね。記憶がもうあやふやな部分がありますが、基本的に怖い上司とサシです。実験の知識や外部とのパイプ作り等 OJT としていろいろと教えてもらっています。もうフルボッコなほどに、他の先輩いわく、いつ辞めるかハラハラしてた、だそうです。ホント病めれるだけの勇気があればね、こっちも楽なんですけど・・・。

まあ、社会人の常識「飲みニケーション」によって上司とは折り合いがつかしました。というより、上司が段々やさしくなった・・・、見捨てられたかね？いやあ、上司とサシで毎週飲むとは、ここら辺で精神的に立ち直る、というより仕事のシステムに慣れてくる。OJT すぎえ、今思うと、今に限らず、人事は本当にオイシイな。

ここらへんで、自分の部署の雲行きがいろいろ面白くなってくる。会社がね、いろいろね、画策するんですよ、で、うちの部署がちょっとね、グハアな状況に立っていく訳で、同期うちの情報収集の重要さを知る。一番重要なのは広い範囲の横の繋がりがだ！とか言ってみる。

ここらへんで同期さんが関西にトバサレル。

オラ、ワクワクできねえぞ。次はオレ？的な感じでガクブルする。期間限定で、とのことだが、先輩が、「3 カ月 3 年だった」という衝撃の過去話を炸裂してくれて乾いた笑いをしてたなあ・・・。

特に必要か分からないが時給がアップするので乙 4 を受ける。「落ちる = 爆笑」の必笑パターンを回避するためにそれなりに勉強する。すぎえ、懐かしいと同時に法律ってこんななんだあ、どれだけ守れてるんだよ、とか思った。形骸化ってコワイネ。

試験会場での試験終了時の素敵ワード：「今回は難しかったね」

聞き間違いか、今回は、???、まあ今回もなんだろう。やさしい気持ちになれました。というより、試験官のおっちゃんの不況のためか手に職として人多い発言もどうかと思うよ。協会は潤うかもしれないけどさ。

で、うちの部署はそんな中ちょっと研究部門内で地位上げてて、オレ大変だけどオイシイところ来たか、とか思ったりしてました。

● 新社会人 2 年目開始編

トバサレマシタ。

嘘とか幻覚とかそういう類のものではなくて、他部署やべえ、ざまぁとか思っていたらうちの部署が異動でした。

恐ろしい企業の不条理の片鱗を見てしまいました。

ある日「研究分野はもううちでは・・・」的トークを上司としながら、「うちの部署がこれからを・・・」的な話をして、色々な体制もそっちにシフトして、とかなってたら・・・追い出された。会社こえええー。マジですか。異動すか、まぁ、部署まるごと飛ばされるので業務的な問題はあまりないんですがね。ただ、給料が下がることが確約されました。ハマッタ、ソナコトワカルワケナイジャン。仕事はうなぎ登りに増えていく中、残業規制、人手不足、飲み会幹事、と大変なことになっていく。新人が入るんだぜ、という明るいニュースを糧に日々生きていました。

この時、まだ同機は帰ってこない。ネバーカムバックなのか？とか思ってたらふと帰ってきた。よかった、よかった、これで幹事から解放される。

この時期から、部署内のクリーンルームに関する備品管理がオレ扱いになっている。補充や配置とか電話がかかるかかる、どこに何ある？そこです。的なね、てか、クリーンルームの方が居室にいる時間よりも段々長くなってきている。体がキレイになってしまふ！！心汚いのねえ～。というより体に悪い。洒落にならない位体に悪い。ホント2度と入るまい、と固く心に誓ったのに、脆くも誓いは破られた！！絶望した！！

しょうがないので、夏休みに四国旅行をすることにしました。今度は色々頑張るぜ！主に自転車的な意味で。

あぁ、期待の新人は2人も入りました。ヨウコソ地獄へ、君たちの若い力を待っていた。的な展開で部門の新人研修を無視して業務が始まる。ここはブラック企業か？クリーンウェアの白が欺瞞すぎて泣けてくる。でも、新人はとても元気で、元気で、うう、元気だけが、取り柄です。まぁ、元気がないと最早うちの部署はやってけないからね！

● 新社会人夏編

夏休み、適当に宿を予約し、祖父母に会い、適当にしまなみ海道を渡る。雨ひでえ、チャリとか無理じゃね？と見てると漕いでる人いるし、すげえチャリ！！

で、四国では小雨の中チャリ借りてスタート。サドルが、服が、雨が、面白くわあるが、厳しい。なんか勢いで岡様ご推薦の山に登る、ガスってるけど。

案の定、真白、途中ソフトクリームアリ の文字、これに縋るしかあるまい！！と踏ん張って車(の中の子供)に笑われながらも登り切る。

ソフトクリームなし！！

店閉店！！

飲み物もなし！！！！

死ねと？

下りは楽しかった。すげえ速い、そりゃね・・・。

帰りは快晴で見晴らしは良さそうでした。登ると帰れないので見送りました。

山は車に限る！！

で、次の日は松山城ちょろっと見て香川に

で、香川ではうどん喰いながら大步危小歩危を見に行く。

前日の雨にて船乗れない。

呪われてないか、厄年だったっけ？

まァ、素敵な小便小僧を見れました。これ考えた人ぶっ飛んでるなァとか思った。確か、ネットにもあるはず、本場でみると凄い、言い表せる位にはすごい。

最終日は親戚の助教の方と会う。これサプライズだった互いに、祖父母が会えよとアポとるようにお達しがあってね、でという形。話すことが互いになくてそれが話になりましたとさ。

で帰る、と。

細かなネタは本人に聞いてください。面白可笑しく話します。内容は本人のテンション依存なんで、元気な時が狙い目です。

で、休みが終わると徐々に死のロードが……。ホントにキツイのはこっちではなくて新人という罫。新人休出しているし、頭が下がります。てか、新人の精神ケアを地味にオレがしてるのは何故なんだろう？

年近いって、そりゃそうですけど、給料分以上じゃなかろうかと？近頃寝付きが更に悪くなるし、食事の暴飲暴食とコーヒーの量が増えてきた。ストレスと思いたい。そう、この体重増加はストレスなんだ！とか勘違いを始める。

まァ、どこでもあるように人手不足なんで、一人もしくは一台がNGになると破綻というタイトなことをすることに。

有給拒否られたしねえ、

「こことっていいですか？」

「これを見てくれ」

「すごくキツキツです」

というトークがあったりなかったりでスケジュール上(当初は余裕だったのに)休めなくなったり、これが開発かァとか思う日々でした。

まァ、そんなこんなで一年位経ったと、色々ありましたね。DQ 発売とか、PSP 購入とか、PS3 購入とか、フットサルが週一化するとか、ホント激動の一年でした。

● おまけ・仕事以外編

で、まァ、今回もなんか適当にツラツラ書きました。反省点は「てか」みたいな変な接続が多すぎるどころですかね？携帯小説みたいで(見たことないけど)、変な文章が多いという感じですかな。

では、恒例？でもないですが、愚痴として埋め草をば(上の文章はエンターテイメントであって愚痴ではないです)。

近頃の生活は悪い方向に進行中でして、平日は6時半起床、8時仕事開始(正規業務としてはもっと後)。でも寝る時間は0時以降！帰ってからネットやゲームでもしないと耐えられん！という状況です。

現状と今後を一言で言うと、

眠い

ダルイ

窓際万歳！！

阿蘇山に今度は行く

忘年会が泊まりっばい

幹事の呪いが解けてない

眠い

裕福だから脱税に気づけないとか言いたい

ニート最高！！

会社辞めれねえ！

眠い

ウザい？

という感じです。

まあ、何が変わったかということと景気の悪化で正規雇用であることのメリットが急騰中です。会社は辞めたいがデメリットが多すぎる。あと、何か今辞めると逃げた的でむかつく、というのがあるかなあ。

仕事はそれなりに楽しいですが、個人的には管理職や会社の制度設計やその履行に関する部分に興味があるんですが、そこは会社の吹きだまり～、重要な部署のはずなのになあ？まあ、優秀でもアンテナの向きが可笑しかったり、決定権の放棄や責任の回避が横行してる感じがするしね？制度疲労がマジ半端ない。という窮状です。

それに、今ほっぽり出されると年越し派遣村に行かなければならなくなるので、頑張ります。せめて3年社会人して第2新人か？でもなあ、オレが経営者だったらそんな奴取らんとするがなあ？

まあ、最後に、年末はFF 三昧で行こうかと、グッバイ睡眠時間！！！！

近況報告

松井 弘毅 (26期)

つばめ会の皆様、お久しぶりです。26期の松井です。現在は大阪で社会人生活を送っています。伸介さんから原稿依頼を受けたので、簡単に近況報告をさせていただきます。

1. 社会人生活 (食事編)

食い倒れの街「大阪」。大阪には、お好み焼き、たこ焼き、串カツ、うどん……など、安くて美味しい食べ物がたくさんあります。大阪を語るには食事から。まずは、私の食事情をご報告します。

現在、私は会社の寮に住んでいます。寮には食堂がついていて、平日の夕食はたいていそこで食べます。お値段は1食600円とやや高めですが、食堂のおばちゃんが誰であろうとかまわずアメフト部仕様の大盛りご飯を出してくれるので、コストパフォーマンスはよいのかもしれませんが。しかも、おばちゃんに気に入られた人には、前日の残り物のおかずをレンジでチンしたものが追加されます。その選別方法はシビアかつ露骨で、2人で一緒に食事を待っているときにも1人だけにおかずが追加されたりします。寮の管理人をボスとすれば、食堂のおばちゃんは裏ボスであり、大阪のおばちゃん特有の圧倒的存在感を持って仕事帰りの私たちの前に立ちはだかります。

休日は寮の食堂も休業となるため、外食をします。寮の周りにお好み焼き屋とラーメン屋の多さは異常です。というか、食事をできる店がほぼその2種類だけです。定食屋とかファミレスがありません。かろうじて寮から少し離れたところにマクドがあります。マックではなく、マクドがあります。

さて、「大阪人はお好み焼きをおかずにご飯を食べる」という事実をご存知でしょうか？炭水化物をおかずにして炭水化物を食べるというR & B (ライス & ブレッド) 的な発想に、私も最初は違和感をおぼえていたのですが、実際に食べてみると結構いけます。お好み焼きは、けっこう味が濃いですからね。ただ、大阪にはさらに世間の常識を覆す組み合わせが存在しました。会社の食堂にあった「大阪風うどん」という料理を見てみると……。

たこ焼 on うどん！

まさに驚愕の組み合わせ。ああ、大阪では常識に囚われてはいけないんですね。

2. 社会人生活 (麻雀編)

休日はたまに寮の友達と麻雀をします。最近、麻雀に対する考え方が少し変わってきました。以前は「とりあえず勝てれば楽しい」くらいに思っていたのですが、実は麻雀からもっと学ぶべきことがあるのかなど。ただ、点数計算すらよく間違える私がこんなことを語るのはけっこう恥ずかしいので、「ふ〜ん」程度に聞いてください。

麻雀というゲームでは、大雑把に分けると以下の3つの要素が試されていると思います。

1. 論理的思考力：手配や場の捨て牌から情報を読み取り、確率的に最良の判断を下す
2. 洞察力：一緒に打っている相手の性格やクセを把握して利用する
3. 運：良い配牌やツモをひく、裏ドラを乗せる

麻雀で試されるのが1の要素だけならば、優秀なコンピュータを使えば必ず勝てます。2の要素が入ることで、コンピュータには真似できない打ち回しが可能になり、ゲームとしての面白みが増します。ただ、私が最も面白いと思うのは3です。「運」という要素を積極的にルールに組み込むことで、麻雀は囲碁や将棋といった他の知的ゲームと一線を画し、「麻雀は人生の縮図である」とさえ言われるのだと思います。

会社に就職して思いました。就職に必要なのは運だったと。やりたい仕事を希望して入社しても、その希望が叶うとは限りません。また、配属された職場に自分と相性のいい上司や先輩がいるかどうかなんてわかりません。そして、いつ異動があるかも。

就職に限らず、人生は運によって左右される部分がかかり多いはずですが。だからこそ、人生を上手に渡り歩くために、麻雀での振る舞いや教訓を参考にすることも可能ではないかと思えます。どんな酷い配牌でも、その後の打ち回しが巧みだったり、ツモが良かったりして、あがれた時もあるはずですが。人生においてどんな状況に陥ろうと、それを他人と比べたり、嘆いたりするのは無意味です。その状況を素直に受け止めるしか道はなく、そこから成功するだけの実力や運があるかどうか全てです。ただ、本当にツキがなく何をやっても裏目に出るときというのはあるもので、そういうときは全て自分が悪いのだと背負い込まず、ツキがめぐってくるのを待つのが賢明でしょう。

こんなことを書くと「仕事そんなに辛いの？」みたいに思われるかもですね(笑)。確かに仕事で苦労することも多いですが、友達と麻雀やったり飲みに行ったりして息抜きしつつ、頑張っています！

3.最後に

最近、仕事が急に忙しくなってきたり、休日でも仕事の調べ物をしたりしています。この原稿依頼を引き受けたことを若干後悔していたり、いなかったり。本当は食事や麻雀よりも書きたい出来事があったし、もっとキレのある文章にしたかったのですが、今週はちょっと時間がありませんでした。

今は西の地に住む者ですので、つばめ会の活動に関わることも難しいですが、また何かの拍子に顔を出した際にはよろしく願います。それでは、OLT及びつばめ会の皆様のご活躍を西方よりお祈りしています！

ML・ホームページについて

➤ つばめ会ML（メーリングリスト）

つばめ会会員間の連絡手段の1つとして立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に使ってください。メールアドレスはtsubame@yahoogleroups.jpとなります。ご不明な点がありましたら、管理者（tsubame-owner@yahoogleroups.jp）までご連絡ください。また、このMLに関するホームページ（登録メンバーのみ）にて過去ログなどを閲覧することもできます。<http://groups.yahoo.co.jp/group/tsubame/> までアクセスしてください。

また、つばめ会および東工大OLTのホームページが稼働中です。ぜひご覧ください。

➤ つばめ会のホームページ 管理人：北村伸介（25期）

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

➤ 東工大OLT のホームページ 管理人：島田裕司（28期）

http://www.geocities.co.jp/titech_OLT/

スパム対策として、メールアドレスは全て画像になっています。ご了承ください。

編集後記

今回も無事に Slope を発行することができました。原稿を書いて下さった皆様、本当にありがとうございました。私としてもなんとかギリギリに発行できて良かったです…。

本号はいつもより若干発行が遅いですが、その分 OLT 杯だけでなくインカレロングの活躍もお伝えすることができたのではないかと思います。中でも田村さんの WE3 位入賞、東工大女子初という快挙を成し遂げてくれました。本当におめでとうございました。他にも併設クラス、新人クラスでの入賞者続出と、OLT の活躍が光ったインカレになったのではないのでしょうか。春にはミドルもありますが、そこでの益々の活躍を期待しています。

さて、恒例になりました(?) 私の近況報告もいよいよ最終回を迎えることになりました。私の所属するグループは会社の野球部、サッカー部、卓球部 OB が揃っているという、まさに体育会系。飲み会は 25 期同期飲みを軽く凌ぐレベル…、まさか社会人になってコールが連続でかかるとは思わなかった。まだまだ精進が足りない? でもこれ以上頑張ると絶対肝臓壊れる気が…。これから年末にかけては飲み会シーズン、落ち着いて飲みたいものですね。

最後に、今号で私の広報としての仕事が終了となります。2 年間ではありましたが、原稿を書いて下さった皆様どうもありがとうございました。つばめ会総会前日に発行されるのが既定となってしまうまで申し訳ありません。さらに言うと、HP をほぼ放置してしまいました大変申し訳ありません。やはり競技を続けて情報を積極的に得なければだめだと、今更ながら痛感しました。この辺りの問題点は、次期広報の小山君(27 期)が必ず解決してくれると期待しつつ、私の文章を終わりにしたいと思います。

東工大オリエンテーリング部 OB/OG 会「つばめ会」会報 “Slope” 26 号 発行責任者：田中 淳一 編集責任者：北村 伸介 (shinkit@muse.dti.ne.jp)

発行年月日：2009/12/12